



MacBook Air 11インチ Mid 2011 ヒートシンクの交換

MacBook Air 11インチ Mid 2011 ヒートシンクの交換をします。

作成者: Walter Galan



はじめに

このガイドを使って、ダメージの入ったヒートシンクを交換して、放熱グリスを再装着しましょう。



ツール:

- [Arctic Silver ArctiClean](#) (1)
- [Arctic Silver 放熱グリス](#) (1)
- [MacBook Air 星形ペンタローブネジ用ドライバ](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [T5トルクスドライバー](#) (1)



部品:

- [MacBook Air 11" \(Mid 2011\) Heat Sink](#) (1)

手順 1 — 下部ケース



❗ まず、コンピューターをシャットダウンし、柔らかい素材の表面上に天面を下にして置きます。

● 以下の10本のネジを外します：

- 星型ペンタローブネジ 8mm 2本
- 星型ペンタローブネジ 2.5mm 8本

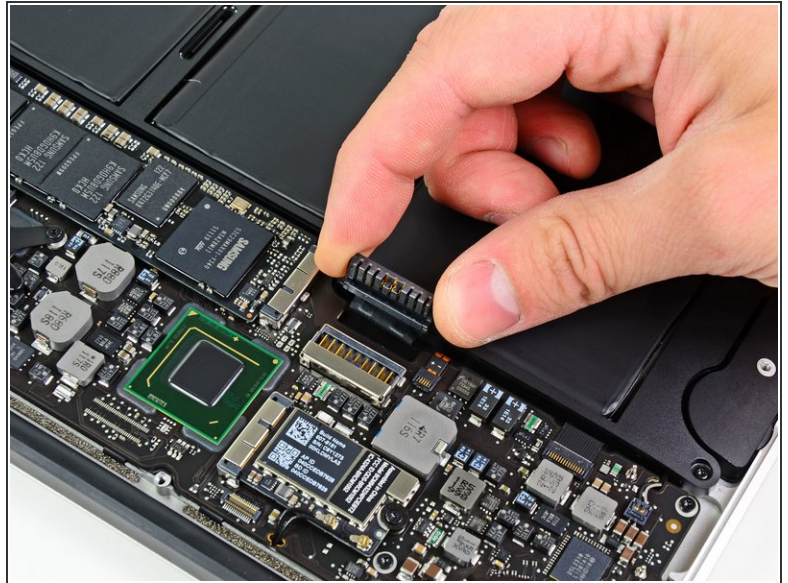
❗ 星型ペンタローブネジを外す際に必要な特別ドライバーは[こちら](#)で購入できます。

手順 2



- ディスプレイと下部ケースの間に指を入れ、下部ケースを引き上げて外します。

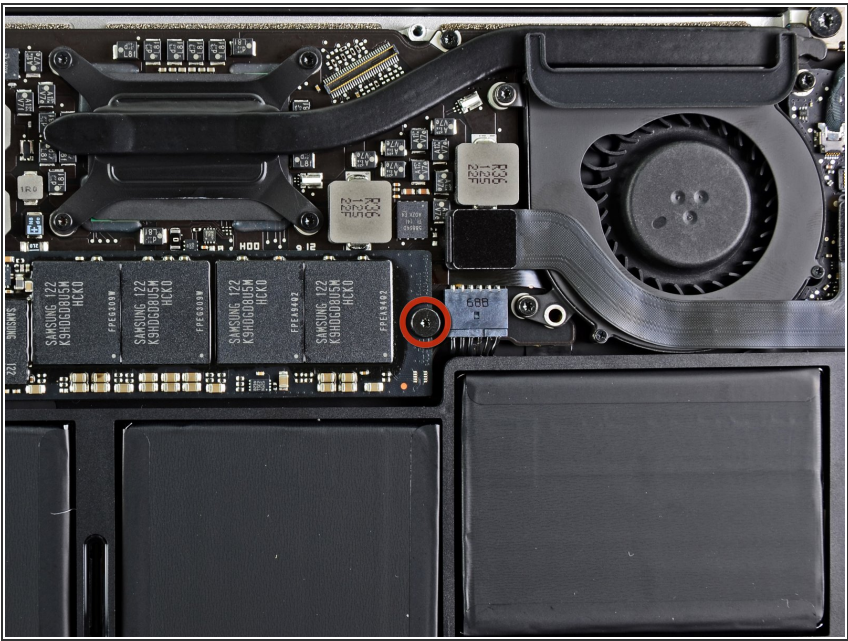
手順 3 — バッテリー



⚠ この手順では、作業中にパーツがショートしないように、バッテリーを取り外します。

- スパジヤーの平面側先端を使用して、バッテリーコネクタ両側の短辺を持ち上げて、ロジックボードのソケットから外します。
- アクシデントでコネクタがソケットに接触しないように、バッテリーケーブルをロジックボードから少し離して反対側に折り曲げます。

手順 4 — SSD



- SSDをロジックボードに固定している1つの2.9 mm T5トルクスネジを取り外します。

手順 5



- 一方の手でSSDを掴み引き上げて、スパッジャーを使って差し込み、SSDの解放側を持ち上げます。

⚠ SSDを過剰に高くまで持ち上げないで下さい。

- ドライブをソケットからまっすぐ引いてロジックボードから取り外します。

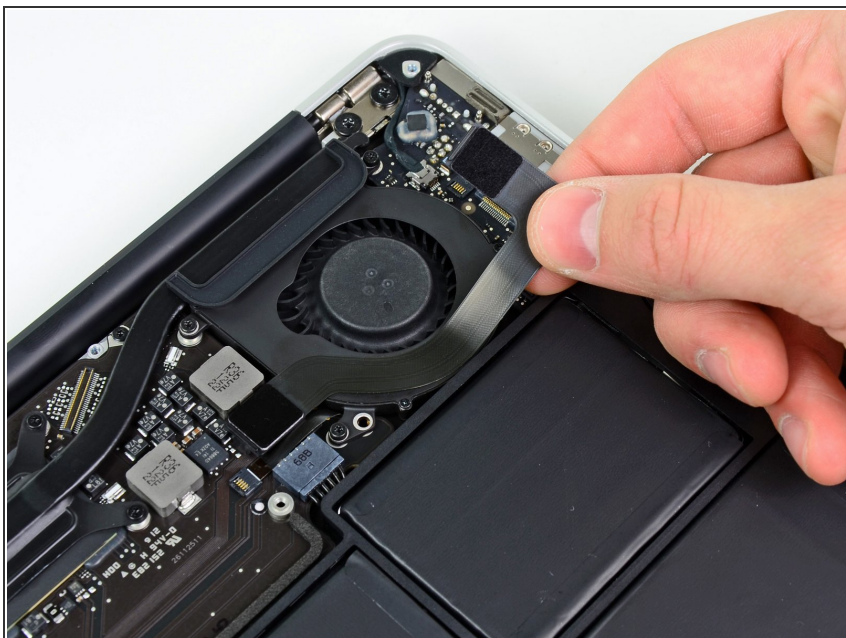
☑ SSDを再装着する際は固定ネジを取り付ける前に、SSDが正しい位置に取り付けられているか確認してください。

手順 6 — I/O ボードケーブル



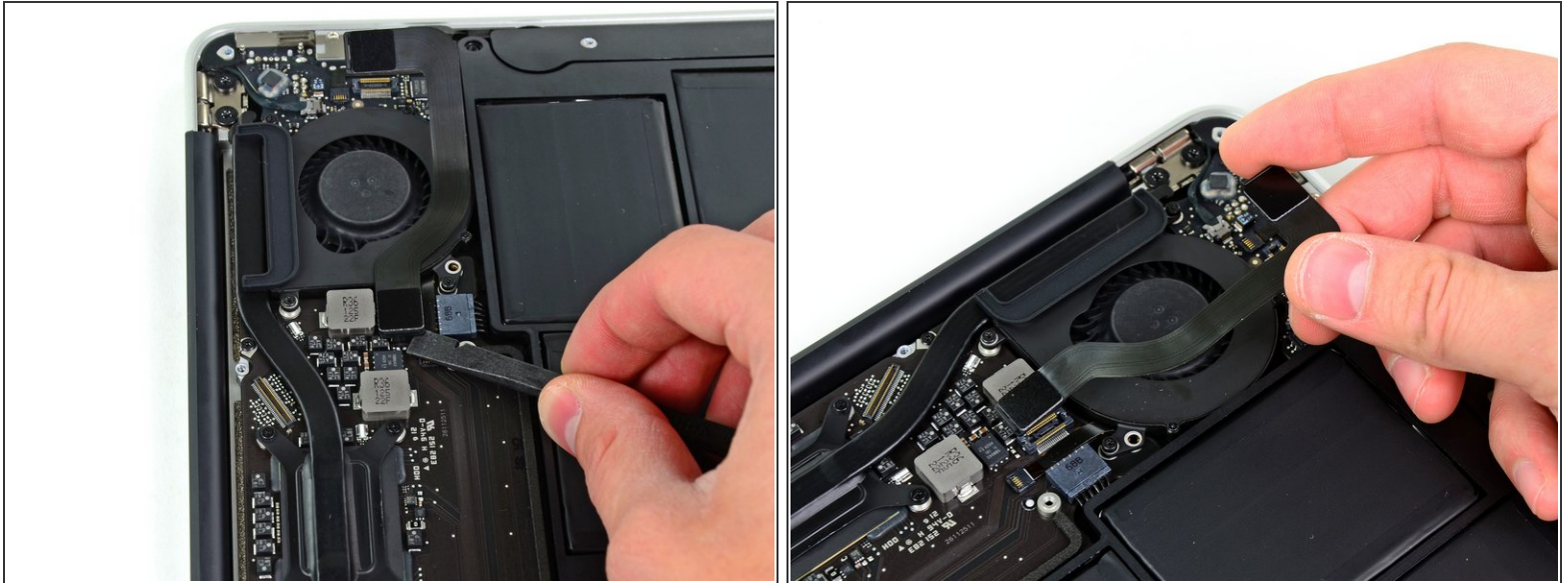
- スパッジャーの平面側先端を使って、I/Oボード上のソケットからI/Oボードケーブルを持ち上げます。

手順 7



- ファンに留められた接着剤からI/Oボードケーブルを剥がします。

手順 8



- スパッジャーの平面側先端を使用して、I/Oボードコネクタを持ち上げて、ロジックボードのソケットから取り外します。

! コネクタをソケットから外すときは、コネクタをまっすぐ持ち上げてください。ソケットはロジックボード上の非常に深いところにあり、コネクタの左右両側からこじ開けてしまうと、ロジックボードを損傷してしまうことがあります

- I/Oボードケーブルを取り出します。

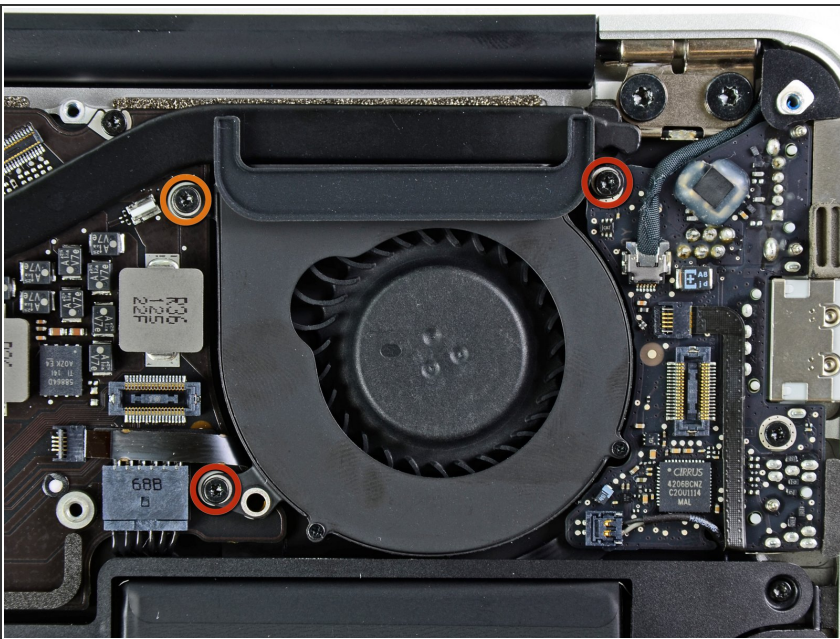
手順 9 — ファン



- スパッジャーの先端を使って、ファンケーブルZIFソケットの保持フラップを持ち上げます。

⚠ ソケット自体ではなく、ヒンジのある保持フラップを持ち上げているか確認してください。

手順 10



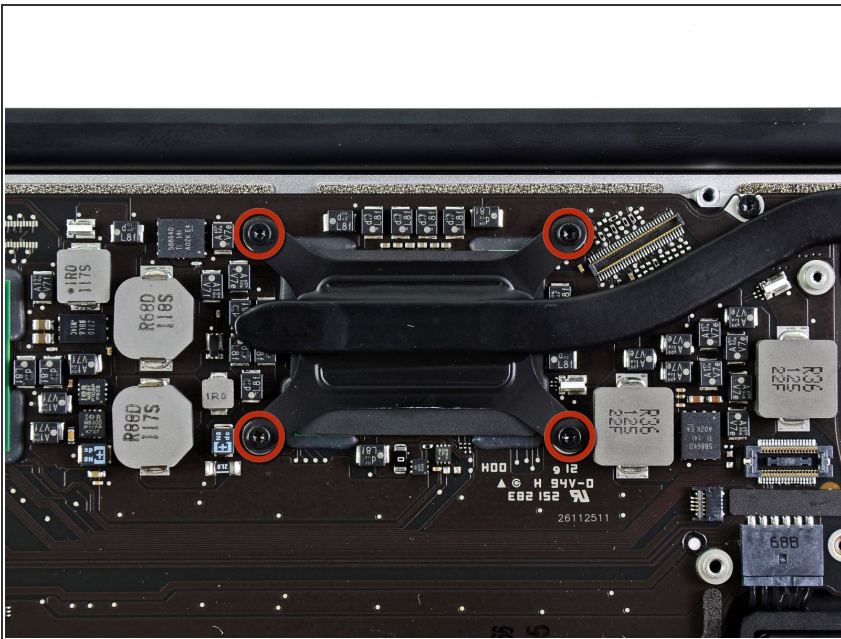
- ファンを天蓋に固定している下記の3つのネジを取り外します。
 - 2つの5.2 mm T5 トルクスネジ
 - 1つの3.6 mm T5 トルクスネジ

手順 11



- 天蓋からファンを持ち上げて、ゆっくりとファンのリボンケーブルをソケットから引きながら、同時にファンを取り出します。

手順 12 — ヒートシンク



- ロジックボードにヒートシンクを固定している2.5 mm T5トルクスネジを4本外します。

手順 13



- ① 4本のネジを全て取り外した後で、ヒートシンクがロジックボードに残留している場合は、スパッジャーを使ってCPUおよびGPU表面からヒートシンクを慎重に分離します。
- ロジックボードからヒートシンクを取り出します。
- ヒートシンクを再び取り付ける際は、必ず[放熱グリス](#)を新しく塗布してください。今まで使用したことのない方向けに、簡単にできる[ガイド](#)があります。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。